

【家訓】
いつでもポジティブに

城 原
(ぐすくばら)

瀬戸内町立俵中学校
No.8 平成25年10月号

保護者や地域みなさん ご協力ありがとうございました

奄美群島日本復帰60周年を祝うとともに復帰に対する先人の想いや苦労・努力を知り、今後の学校生活や学校存続に生かしたいという想いをもって、体育大会で盛大に記念行進をすることができました。



仕事を好きになること

教頭 森 雄二

最近読んだ本に、次のようなことが書いてありました。とても考えさせられたので紹介します。

仕事が楽しくないと感じるのは、そこに「自分」が感じられないときだろう。仕事は自己表現の場でもあるからだ。

好きな仕事は、それが「好き」だという時点で、すでに「自分」のものだと思えることができる。だから何をしようと満ち足りた気分になれるわけだ。しかし、意に染まらない仕事はそうもいかない。そこに「自分」が感じられないから、感情のないロボットか何かになって、命じられた作業を機械的にこなしているような気持ちになってしまうわけだ。それをおもしろくやろうと思ったら、なんらかの形でそれが「自分の仕事」だと感じられるようにする必要がある。これは、そうむずかしいことではない。与えられた仕事をどのようにこなし、いかにして目標を達成するかといったことを、「自分の頭」で考えればいいのである。

たとえ最初は興味のもてなかった分野でも、自分の頭を使って真剣に考えれば、自分なりの発見もあるだろう。新しいアイデアもわいてくるはずだ。それによって、最初は他人から押しつけられただけだった仕事が「自分のもの」だと思えるようになり、おもしろがって取り組めるようになるのである。

「なんでだろう」から仕事は始まる！小倉昌男著（講談社）

「仕事」を辞書で調べると「成し遂げるための行動」と書いてありました。生徒の場合は、「仕事」を学校では「学業」、家庭では「手伝い」と置き換えて、もう一度読んでみてください。成し遂げることができたら何事もうれしいはずですよ。「つまらない」なんて思わないで、自分の頭を使って何からでもいいから、一つのことを真剣に考えてください。一步を踏み出してみると「新しい世界」、「新しい自分」を発見することができるはずです。

今日は平成25年度も折り返し地点。前半できなかったことも頑張っ



9月5日の金曜日に鹿児島大学教育学部フрендシップ事業を実施しました。

17年目を迎える事業です。本年度は、「板付け舟による大島海峡横断」を前面に出して、板付け舟体験を中心に交流会を実施しました。学生たちは、本校の特色ある教育活動を体験するとともに、離島及びへき地の小規模校のよさや課題を実感できました。今回の体験をとおして、教職への思いを強くして、一人でも多くの教職員が誕生することを期待しています。



わかる楽しい英語の授業

瀬戸内町の新しいALT（外国語指導助手）、ジミー先生が来校しました。前任のシャノン先生同様、楽しい交流ができそうです。

ジミー先生は、ニューヨーク出身で日本語や中国語が話せ、マジックが得意な気さくな方です。

日本で俳優になるのが夢で、日本語の学習やテレビのドラマなどで役づくりなど研究をしているようです。AKBが好きということなので、生徒とも話題がかみ合うと思います。

先生と楽しく交流しながら、外国語の基礎的・基本的内容の定着やコミュニケーション能力が高まることを期待しています。



私たちの頑張りを見に来て！

右の日時で校内英語暗唱大会を行います。

生徒は現在、一生懸命練習しています。都合がつかれる方は参観にお越しください。

日時 10月11日（金）
15:10～16:00
場所 本校体育館

おもな10月行事

▼白組は負けたが、みんなが心一つになって体育大会に挑めたと思います。▼これは生徒の体育大会の感想です。▼当日は感動する姿をたくさん見ることができました。▼勝敗に関係なくすべての生徒をほめてあげたいです。▼君たちはすごい！

2	水	三島集合学習（～3日）
4	金	教育相談
5	土	県下秋季選抜野球大会（～6日）
8	火	中間テスト（～9日）
11	月	英語暗唱大会、PTA懇談会
12	土	大島地区ソフトテニス大会
22	火	文化祭合唱練習（PTA）
25	金	フラワーアレンジ（PTA）
27	日	文化祭
28	月	振替休日